

定例会見(平成24年4月)

議事次第

定例会見(15:30~16:20) 代表取締役会長兼社長 橋本 圭一郎

会見内容

1. 最近の通行台数状況
 2. 中期経営計画(2012-2014)
 3. 平成24事業年度事業計画の概要
 - ・建設事業の進捗状況
 - ・海外事業展開について
 - ・技術コンサルティング事業の展開
 - ・川口PAを活用したハイウェイオアシス整備事業について
 - ・サーキュレーション首都高(第2弾)他について
 4. 環境への取組み
 5. 開通50周年記念事業について
- 質疑応答

1. 最近の通行台数状況

1. 最近の状況

- ・3月、4月の前年同月比は大きくプラスとなっている。これは昨年3月11日の東日本大震災後の通行台数が大幅に減少しているためである。

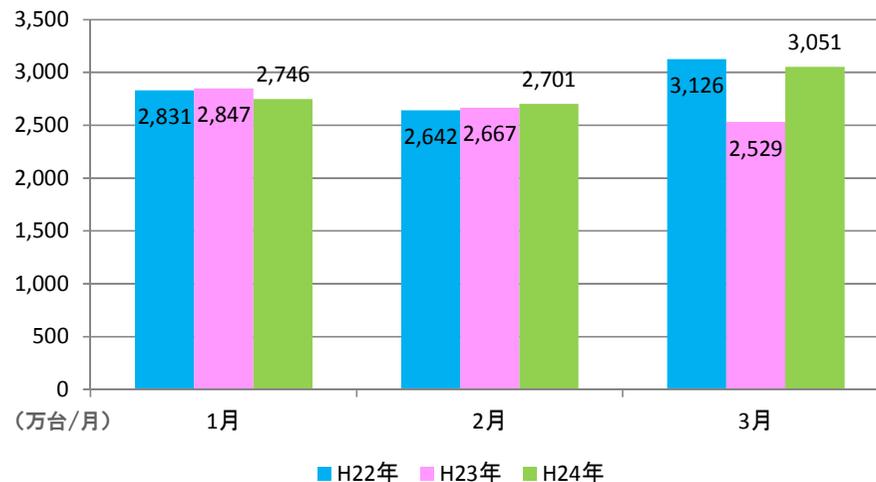
	1月	2月	3月	4月 ^{※1}
通行台数(台/日)	885,836	931,455	984,280	947,244
前年同月比 ^{※2}	96.5%	97.8%	120.6%	106.9%

※1 4月は1日～19日の平均台数(速報値)

※2 比較を可能にするため、昨年の通行台数を料金圏撤廃と仮定。

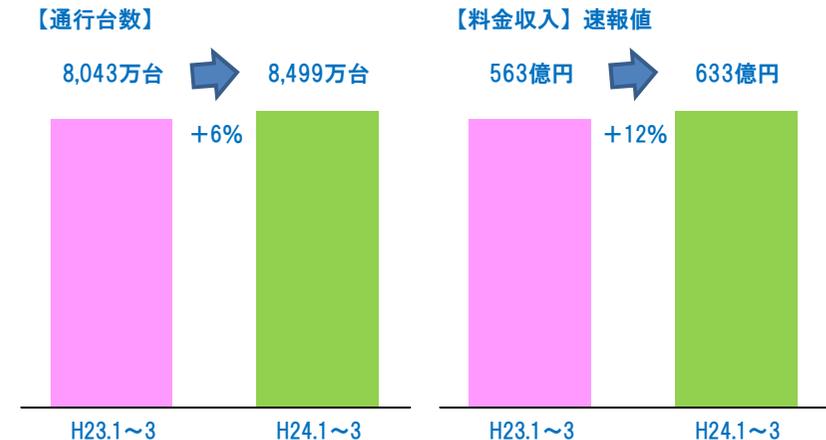
2. 月間通行台数の推移

- ・平成24年2月はうるう年のため、月間通行台数は前年、前々年を上回った。
- ・平成23年3月は東日本大震災の影響により大幅に減少。



3. 距離別料金移行後の状況

- ・1～3月の総通行台数は前年と比べ6%増、総収入(速報値)は12%増となった。
- ※東日本大震災の影響により昨年の通行台数及び料金収入は大幅に減少。



※ 比較を可能にするため、前年、前々年の通行台数を料金圏撤廃と仮定。

1. 最近の通行台数状況

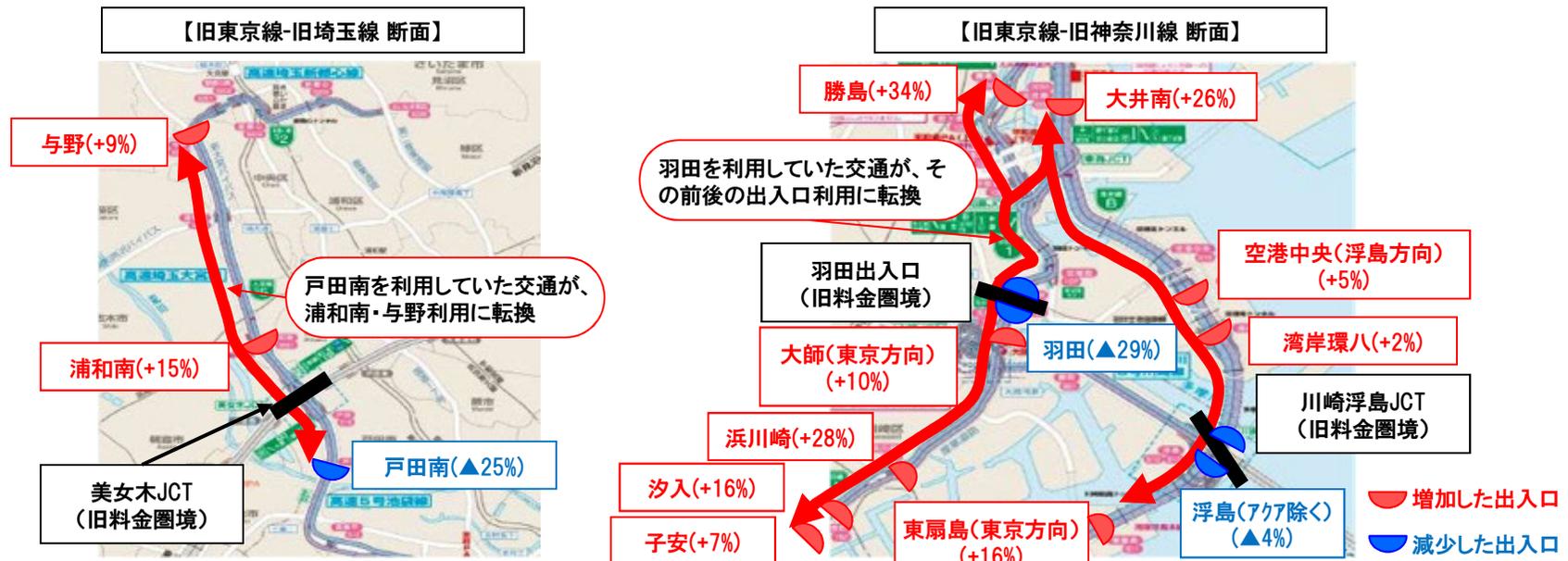
4. 料金圏撤廃による利用台数の変化（2月の平日比較）

・料金圏撤廃により、旧料金圏境の断面交通量が旧東京線-旧埼玉線断面で約19%増加、旧東京線-旧神奈川線断面で約8%増加しており、料金圏を跨いで連続利用する交通が増加している。

○ 利用台数(旧料金圏境の断面交通量)(平日)

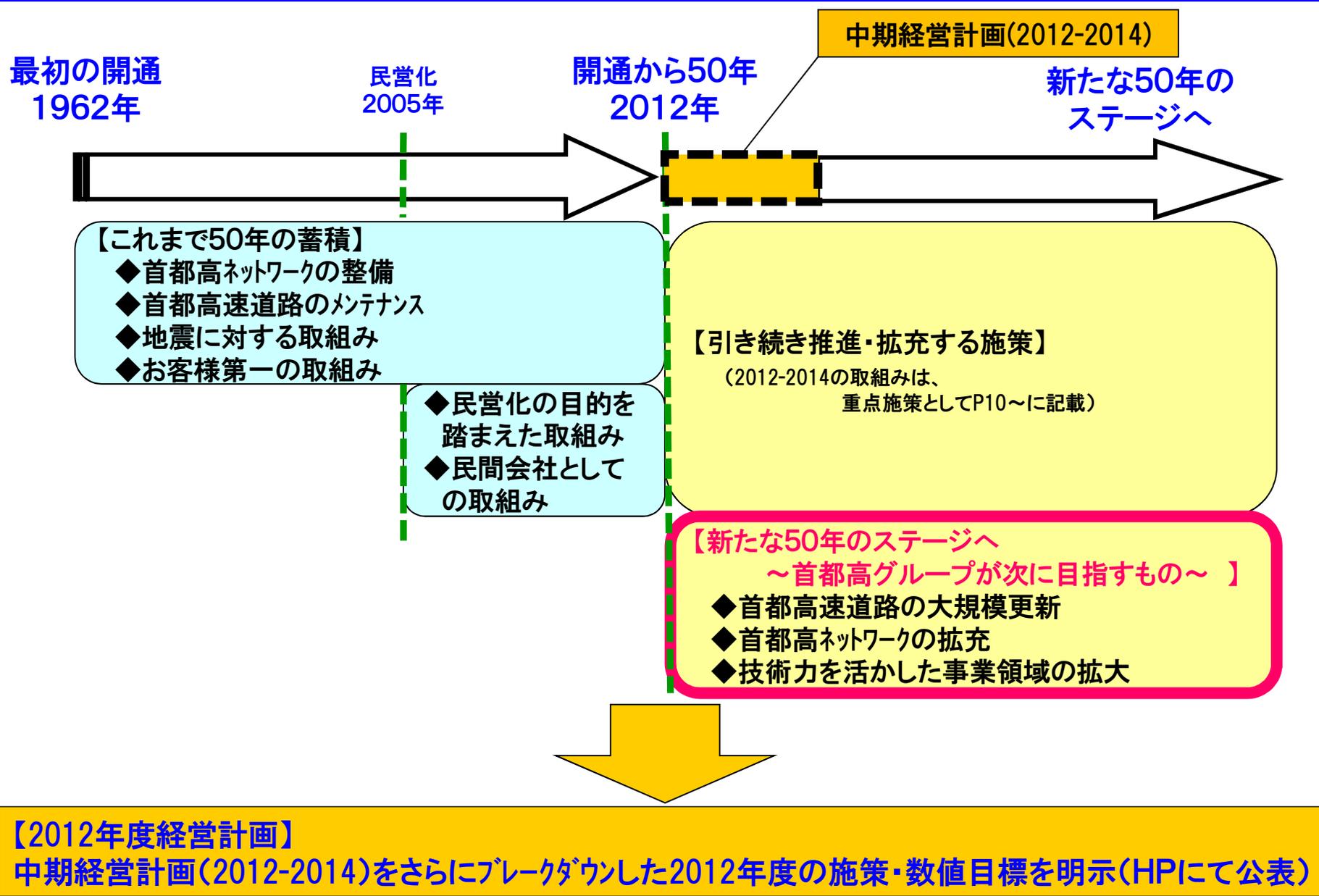
	地点	移行前(H23)	移行後(H24)	対前年比
旧東京線-旧埼玉線 断面	美女木JCT付近	27,200台/日	32,300台/日	+19%
旧東京線-旧神奈川線 断面	羽田および浮島付近(合計)	132,100台/日	143,000台/日	+8%

○ 旧料金圏境における交通量の変化(平日)



【移行前(H23) : 平成23年2月平日平均(月～土)】
 【移行後(H24) : 平成24年2月平日平均(月～土)】 ※集計は車両感知器データ

2. 中期経営計画 (2012-2014)



2. 中期経営計画 (2012-2014)

中期経営計画 ～首都高グループが次に目指すもの～ ①

【今求められているもの】(P5)

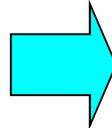
過酷な使用状況にある首都高速道路は高齢化(※)が進んでいることから、構造物の維持管理に対する適切かつ戦略的な対応が求められている

※過酷な使用状況の下で損傷が多く発生している状態を、当社は「高齢化」と定義

【次に目指すもの】(P7)

◆首都高速道路の大規模更新◆

- (1)これから50年間、ネットワークとしての機能を維持するとともに、構造物の安全性を確保するため、戦略的な取組みを行う
- (2)ライフサイクルコストを考慮して、耐久性向上対策を実施しつつ、必要な区間については大規模な更新事業の実施を目指す



【2012 - 2014の取組み】(P22)

- (1)要補修箇所が増加や維持管理上の課題に着目し、具体的な箇所、優先順位などの検討を行う
- (2)大規模更新を行う場合には、景観やまちづくり等にも配慮する

【首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する調査研究 委員会】

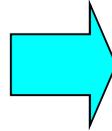
委員長	浦井 史郎	東京都市大学環境情報学部 教授
委員	秋池 玲子	ポストコンサルテインググループパートナー&マネージング・ディレクター
	石田 康生	筑波大学大学院システム情報工学科 教授
	鶴山 廣直	(株)日本高速道路保有・債務返済機構 理事長
	藤野 隆三	東京大学大学院工学系研究科 教授
	前川 宏一	東京大学大学院工学系研究科 教授
	真下 英人	(株)土木研究所道路技術研究グループ グループ長
	三木 千壽	東京工業大学大学院理工学研究科 教授

2. 中期経営計画 (2012-2014)

中期経営計画 ～首都高グループが次に目指すもの～ ②

【今求められているもの】(P5)

アジアにおける厳しい都市間競争を勝ち抜き、首都圏の高いポテンシャルを維持するためには、陸・海・空が一体となった交通・物流ネットワークの整備が求められている



【次に目指すもの】(P8)

◆首都高ネットワークの拡充◆

2012年度横浜環状北西線事業に着手するなど、首都圏のネットワーク拡充の一翼を担う

【2012 - 2014の取組み】(P22)

- (1) 横浜環状北西線について、2012年度早期に都市計画事業認可を受けるとともに、横浜市との施行協定を締結し、2021年度の完成を目指して事業に着手する
- (2) 国、地方公共団体との連携の下、川崎縦貫線・湾岸線の機能強化や高速埼玉大宮線の延伸など、広域的なネットワークの整備について、検討を進める



出典：
 (道路延長、走行台キロ)平成17年度道路交通センサス (国土交通省)
 (貨物輸送量)第26回首都高速道路交通起終点調査(平成21年1月)及び平成17年度道路交通センサスマスターデータから独自に集計

首都圏における役割(P2)



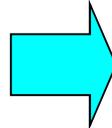
首都圏ネットワークイメージ図(P8)

2. 中期経営計画 (2012-2014)

中期経営計画 ～首都高グループが次に目指すもの～ ③

【今求められているもの】(P6)

日本全国だけでなく世界各国の道路管理者は、橋梁など道路インフラの高齢化への対応等に苦慮しており、建設時の品質管理、完成後の構造物維持管理、完成後の道路の有効利用に資するITS整備へのニーズが高まっている



【次に目指すもの】(P8)

◆技術力を活かした事業領域の拡大◆

- (1)高齢化が進行する日本全国の道路インフラに対し、コンサルティング事業や道路保全事業を拡大する
- (2)アジア諸国において、道路インフラに対するコンサルティング事業の展開を拡大するとともに、道路建設やメンテナンス、料金收受システム、ITSの整備などへの参画を目指す



地方自治体の技術者に対する点検デモ

【2012 - 2014の取組み】(P22)

- (1)国内事業
 - ・技術コンサルティング事業の拡大展開
 - ・建物耐震診断の本格化等
- (2)海外事業
 - ・コンサルティング業務の受注
 - ・道路投資事業に係る案件形成



相手国技術者へ橋梁点検手法のOJT実施
(バンコク)

2. 中期経営計画 (2012-2014)

中期経営計画 ～ 2012 - 2014の重点施策 ～

1. 高速道路事業のサービス向上(P10～)

安全: 防災対策の強化、構造物の耐久性向上、確実なメンテナンス、安全運転の支援、システム信頼性の向上
快適: 整備中路線の建設、渋滞対策の推進、走行快適性の向上
全般: お客様の声の反映、今後の料金のあり方について検討



交通安全対策(注意喚起カラー舗装)(P12)



東京スマートドライバープロジェクト(P12)

2. 関連事業の拡充(P16～)

PA事業・駐車場事業の拡充、快適空間の提供、提案・貢献型ビジネスの推進、新分野への取組み



工事案内板を再利用したスケートボード(P17)

3. 社会への貢献(P18～)

環境への取組み、地域への貢献、国際貢献の推進

4. 新たなステージに向けた企業運営(P20～)

企業運営の健全性確保、技術力の向上、知的財産の戦略的活用、人材と組織の強化、コスト縮減



大橋“グリーン”ジャンクション(P19)

3. 平成24事業年度事業計画の概要

◆横浜環状北西線の新規事業着手など、ネットワーク整備・ボトルネック対策を着実に推進

「事業レポート」P3～4、P9～16

- 「中央環状品川線」、「横浜環状北線」等のネットワーク整備を推進するほか、平成24年度より新たに「横浜環状北西線」の整備に着手
- 中央環状線の機能を有効に発揮させるため、車線拡幅等のボトルネック対策を重点的に実施

◆道路の適切な維持管理を実施

「事業レポート」P17～28

- 安全・安心・快適にご利用いただけるよう、交通安全対策、構造物の点検の強化、適切な補修など、道路の維持管理を確実に実施

◆環境への取り組みを積極的に展開

「環境レポート」参照

- 近隣の小中学校と連携しながら、自然再生の取り組みを実施
- 道路設備やパーキングエリアなどにおいて、省エネルギー・自然エネルギー技術を積極的に導入

◆新しい分野での事業を積極的に開発

「事業レポート」P43～48

- 首都高の技術力を活用した「国際貢献・海外事業」、「技術コンサルティング事業」を積極的に展開
- 川口市(公園整備)と協力し、川口PAを活用した首都高初の「ハイウェイオアシス」整備事業に着手
- 横断幕や工事用看板などの建設資材を循環利用する取り組みを「サーキュレーション首都高」として展開

3. 平成24事業年度事業計画の概要【建設事業の進捗状況】

■ 中央環状品川線 工事進捗状況



写真① 本線シールド内
(床版工、内装工等を実施中)



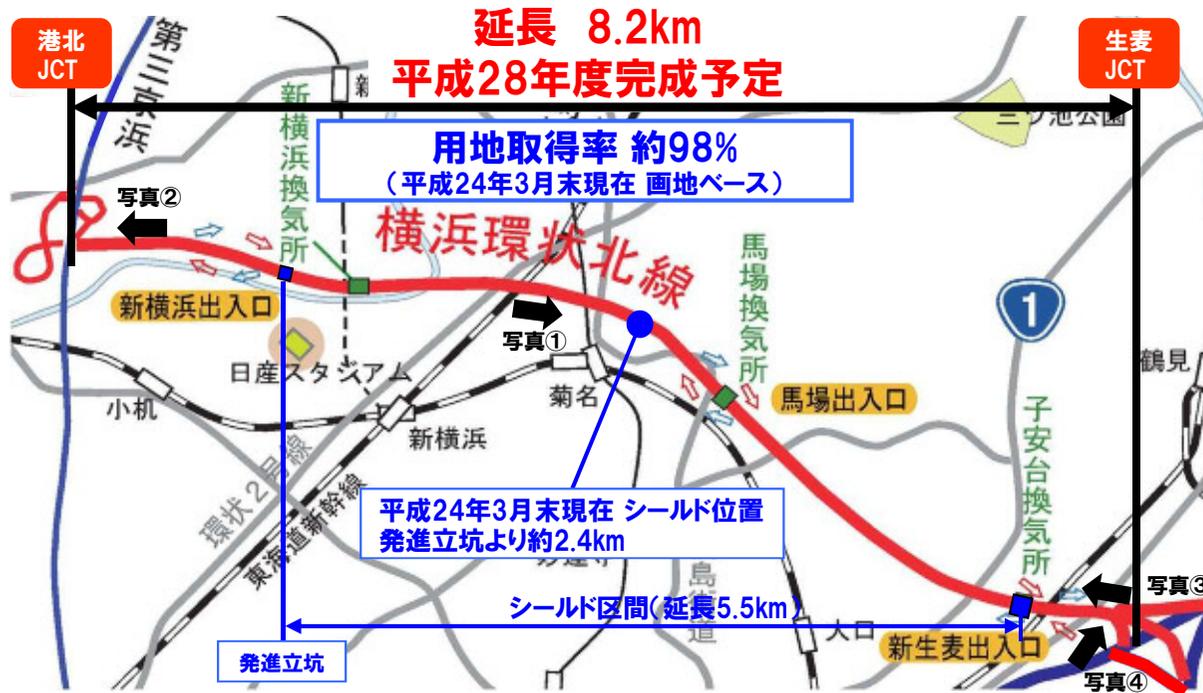
写真② 五反田出入口付近
(土留工、掘削工等を実施中)



写真③ 大橋連結路シールド内
(床版工等を実施中)

3. 平成24事業年度事業計画の概要【建設事業の進捗状況】

■ 横浜環状北線 工事進捗状況



写真① 本線シールド内
(シールド掘進工、床版工を実施中)



写真② 港北JCT～新横浜出入口
(高架橋の橋脚工を実施中)



写真③ 生姜JCT(鉄道交差部)
(高架橋架設のための構台工を実施中)



写真④ 生姜JCT
(高架橋のケーソン基礎工を実施中)

3. 平成24事業年度事業計画の概要【建設事業の進捗状況】

■ 横浜環状北西線 事業着手について

- 東名高速道路(横浜青葉JCT)と横浜環状北線(港北JCT)・第三京浜道路を結ぶ路線
- 延長約7.1km(うちトンネル構造約4.1km)
- 公共事業と有料道路事業とを組み合わせた一体的な事業方式(横浜市と連携)
- 平成33年度完成予定(平成24年度から事業着手)



横浜環状北線と一体となって横浜港と東名高速道路を直結し、横浜都心部と背後圏との結びつきが強化されることにより、国際競争力が向上

路線概要

3. 平成24事業年度事業計画の概要【海外事業展開について】

(1) 海外展開基本方針

都市内における高速道路の計画・建設・運営により積み上げてきた各種技術やノウハウを活用し、

- － コンサルタント事業や投資事業など収益事業へ参画
- － 道路事業に係る国際貢献を推進

(2) 海外事業の取組み経緯及び状況

① 海外駐在員事務所の開設

- 1) バンコク駐在員事務所 平成23年6月8日(水)開設 
- 2) ジャカルタ駐在員事務所 平成23年6月30日(木)開設 

② 海外事業新会社の設立

他の高速道路会社と共同で、平成23年9月1日(木)に日本高速道路インターナショナル(株)(JEXWAY)を設立



③ 外国の政府関係機関や民間企業との覚書締結

覚書締結日	覚書締結先国	覚書締結先
H21.8.24	カンボジア	公共事業運輸省
H22.4.7	タイ	EXAT(タイ高速道路公社)
H22.6.15	インドネシア	ジャサマルガ社(有料道路会社)、アストラテル社(インフラ投資会社)

④ 現在派遣中のJICA長期専門家

派遣国	派遣機関及びプロジェクト名	専門分野
カンボジア	公共事業運輸省 建設の品質管理強化プロジェクト	道路建設・維持管理

3. 平成24事業年度事業計画の概要【海外事業展開について】

⑤ 海外からの視察・研修の受け入れ

平成23年度は、20ヶ国から250名の要人や研修生の視察や研修を受入



ミャンマー国 建設省副大臣 レインボブリッジ視察



ベトナム国 交通運輸省副大臣 交通管制室視察



フィリピン国
公共事業省長官
大橋ジャンクション
視察



モザンビーク国 研修生 過積載取締状況視察

3. 平成24事業年度事業計画の概要【海外事業展開について】

⑥ 海外コンサルティング業務受注状況

状況	派遣国	プロジェクト名／工期／受注形態	当社担当内容
完了1	タイ	JICA 橋梁維持管理計画策定調査(チャオプラヤ川架橋) ／H22.2.25～H23.3.31／長大・首都高JV	橋梁点検/維持管理
完了2	タイ	国交省 タイ・バンコクにおける湾岸地区高速道路等の整備計画策定調査業務 ／H23.2.1～H23.3.25／長大の再委託	道路建設/環境配慮
完了3	タイ	JICA 地方における橋梁基本計画作成プロジェクト詳細計画策定調査 ／H23.2.14～H23.3.31／単独受注	橋梁設計/維持管理
完了4	ベトナム	JICA ハノイ首都圏高速道路交通管制システム整備計画準備調査 ／H23.10.26～H24.3.30／オリコン・首都高JV	高速道路ITS設計
完了5	ベトナム	JICA インフラ工事品質確保能力向上プロジェクト ／H22.5.17～H24.3.31／片平・Nexco中日本JVの片平の補強	技術資格制度
完了6	エジプト	JICA スエズ運河架橋建設計画フォローアップ協力調査(鋼床版舗装) ／H23.10.21～H24.1.31／オリコン・長大JVのオリコンの再委託【(財)首都高速道路技術センター受注案件】	橋梁点検/維持管理
継続1	フィリピン	JICA メガマニラ圏高速道路建設事業準備調査 ／H23.3.2～H24.6.30／建設技研・三菱総研・オリコン・首都高JV	高速道路ETC/ITS
継続2	インドネシア	JICA ジャカルタ首都圏投資促進特別地域(MPA)マスタープラン調査 ／H23.5.25～H24.6.15／日本工営・三菱商事・千代田化工・日揮・大成・メトロ・日立・首都高・日本郵船・オリコン・三菱総研JV	高速道路計画部門
継続3	インド	JICA ハイデラバード都市圏におけるITS導入実施支援調査(SAPI) ／H23.7.21～H25.3.21／日本工営・Nexco東日本・首都高JV	都市内ITS設計
継続4	タイ	JICA 地方における橋梁基本計画作成・橋梁維持管理能力プロジェクト ／H23.11.15～H25.5.31／長大・首都高JV	橋梁点検/維持管理
新規	ミャンマー	JICA ビルマ橋梁訓練センター技術協力プロジェクトの検証および適用にかかる調査研究 ／H24.3.1～H24.9.28／オリコン・国際開発センター・技術センター・復建調査設計・Nexco東日本JV【(財)首都高速道路技術センター受注案件】	橋梁設計/技術移転

3. 平成24事業年度事業計画の概要【技術コンサルティング事業の展開】

(1)平成23年度の新規受注実績

- 国内技術コンサルティング事業 ⇒ 17件（平成22年度:11件）
※首都高グループの新規受注件数の合計

《主な受注実績》

件名	発注者	実施者
鋼床板疲労き裂補修に係る技術支援に関する年度協定(平成23年度)	NEXCO東日本	首都高速道路(株)
平成23年度鋼橋疲労対策検討業務	国土交通省道路局	(財)首都高速道路 技術センター
平成23年度PC橋の点検・調査に関する検討業務	国土交通省道路局	
平成23年度東京ゲートブリッジ橋梁点検委託	東京都港湾局	
平成23年度東京臨海道路(Ⅱ期)供用前施設点検調査委託	東京都港湾局	首都高技術(株)
隅田川大橋耐震補強詳細設計	東京都第一建設事務所	
橋梁維持点検業務委託(舞浜連結路)	浦安市	

- 建物耐震診断業務 ⇒ 4件

(一級建築士事務所として、平成23年4月1日から建物耐震診断に参入)

3. 平成24事業年度事業計画の概要【技術コンサルティング事業の展開】

(2) 今後の取り組み目標(中期経営計画)

【国内技術コンサルティング事業】

道路構造物の点検・診断・維持補修、首都高速道路への近接施工に伴う影響解析、まちづくりに関する調査・計画など幅広い分野で技術コンサルティング事業を拡大展開するとともに、維持修繕を含む道路管理業務の受注も目指す。

＜目標 受注件数(平成26年度) : 30件＞

- 国・地方自治体のニーズに応じた技術開発
- 「橋梁の維持管理技術に関する勉強会」「点検デモンストレーション」等を引き続き開催
- パンフレット、ホームページ等による広報
(ホームページ: <http://www.shutoko.co.jp/efforts/newproject/technique>)

【建物耐震診断業務】

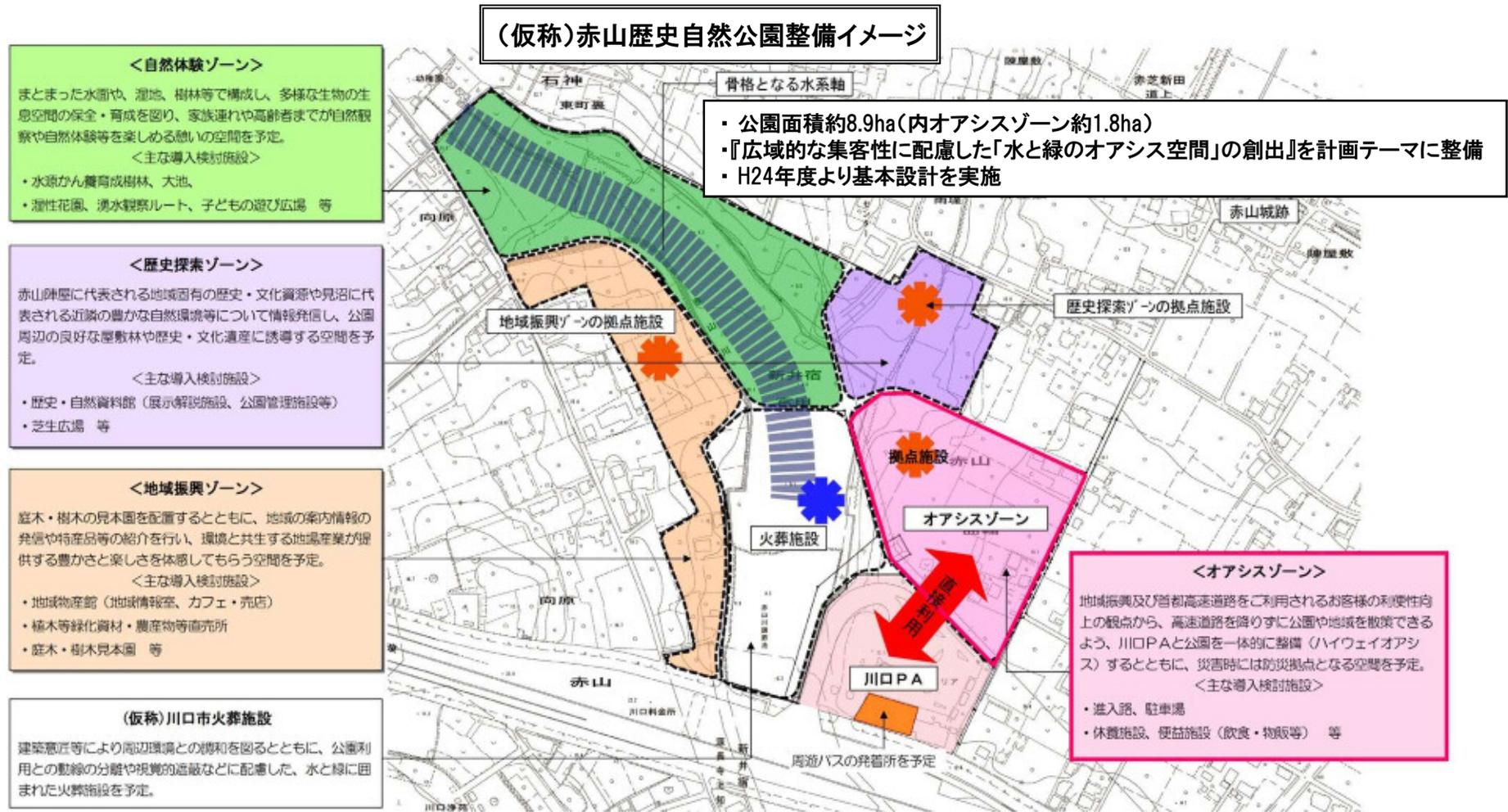
「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」を踏まえ、建物耐震診断を本格化するとともに、耐震工事の設計・工事監理の受注を目指す。

＜目標受注件数(平成24・25年度合計) : 10件＞

- 首都高速道路沿道の建物オーナーさまへの営業を引き続き実施
- 耐震診断を行ったお客様への耐震設計・工事についてアフターフォローのご提案

3. 平成24事業年度事業計画の概要【川口PAを活用したハイウェイオアシス整備事業について】

川口市と協力し、地域振興及び首都高をご利用されるお客様の利便性向上を図るため、首都高を降りずに公園や地域を散策できるよう、川口PAと公園(川口市)を連結し、一体的に整備する「首都高初のハイウェイオアシス」事業を推進するものである。川口PAの駐車機能及びサービス機能の拡充にもつながる。



3. 平成24事業年度事業計画の概要 【サーキュレーション首都高（第2弾）他について】

CIRCULATION SHUTOKO 商品化第2弾:スケートボード

第1弾の「はたらくトート」に引き続き、第2弾は“スケートボード”を販売。材料は、通行止め等のお知らせの目的で使用されている木製の「工事案内看板」。従来は数回再利用(Reuse)した後は産業廃棄物として処分していたが、リサイクル(Recycle)して“スケートボード”として商品化した。

- 製造販売者：JetMinMin(ジェットミン)
- 商品名：Hi-W8 / ハイウェイト
- 材料：木製合板(工事案内看板)
- 発売日：平成24年4月23日
- 販売方法：インターネット等



イベント出展

講談社主催「TooLs2012～暮らしの道具展～」に出展(3/24.25)し、“スケートボード”等を試作品として紹介。同時にワークショップを開催し、横断幕を切り抜きキーホルダーを作成することで、リサイクルを体験してもらった。



〔スケートボード〕

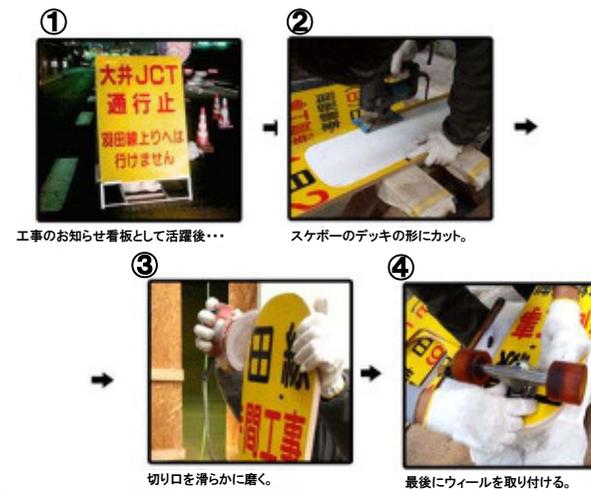


〔ワークショップの様子〕



〔試作品:机、道具箱〕

製造工程



3. 平成24事業年度事業計画の概要 【サーキュレーション首都高（第2弾）他について】

[参考:第1弾「はたらくトート」]

平成21年度の社内提案制度(「バーチャルハリウッド」)にて提案
翌22年度に使用済み横断幕を再利用した『はたらくトート』を商品化



- 製造販売者 : (株)スーパープランニング
- 販売ブランド : ROOTOTE(ルートート)
- 商品名 : はたらくトート
- 材料 : ターポリン(横断幕)
- 販売方法 : 直営店及びインターネット

最近のトピックス

東京マラソン2012の協力企業として、コース上に応援横断幕を掲出。
使用後に、首都高開通50周年を記念して“限定トートバック”を50個製作。
(うち5名様にプレゼント及び45個を販売)



◎首都高で働く車を玩具等として商品化

食玩及び玩具メーカーと協同で当社で活躍している車を商品化。幅広い層に対する、ブランドイメージの向上を目指す。

- 商品名 : 日本の働く車シリーズ(全7種) [食玩]
首都高関連車種

- ①取締車両(日産シビリアン)
- ②車両運搬車(日野スペースレンジャー)

- 製造販売者 : (株)エフトイズ・コンフェクト ①
- 販売価格 : 599円(税込)
- 販売時期 : 平成24年4月23日



- 商品名 : VooV [玩具]
FR11 トヨタ ランドクルーザー～道路パトロール車

- 製造販売者 : (株)バンダイ
- 販売価格 : 525円(税込)
- 発売時期 : 平成24年9月予定



4 . 環境への取組み

1. 平成24年度 首都高の環境イベント予定

	時期	イベント	場所	内容	マスコミ各社 へのご案内
おおはし りの杜	5月31日	大橋換気所屋上自然再生緑地「おおはし りの杜」(以下「おおはしりの杜」)・田植え体験	大橋ジャンクション	地域の小学生による田植え体験	○
	7月	おおはしりの杜・自然観察会	大橋ジャンクション	地域の小学生による自然観察会	
	9月	おおはしりの杜・稲刈り体験	大橋ジャンクション	地域の小学生による稲刈り体験	○
	10月	おおはしりの杜・脱穀体験	大橋ジャンクション	地域の小学生による脱穀体験	
見沼たんぼ 首都高 ビオトープ	5月16日	見沼たんぼ首都高ビオトープ・除草	見沼たんぼ首都高 ビオトープ	社員有志による外来植物の除草	
	6～8月	見沼たんぼ首都高ビオトープ・ 学生実習	見沼たんぼ首都高 ビオトープ	専門学校生、大学生による植物(水生 植物、植栽樹)の移植等	
	10月	見沼たんぼ首都高ビオトープ・自然観察会	見沼たんぼ首都高 ビオトープ	地域の幼稚園児による自然観察会	
	12月～ H25年1月頃	ハンノキ・プロジェクト植樹式	見沼たんぼ首都高 ビオトープ	ビオトープにハンノキを植樹(埼玉県 の蝶・ミドリシジミを呼び戻すプロジェクト)	○
イベン ト出展	6月2・3日	エコライフ・フェア2012	代々木公園	【イベント出展】 首都高の環境への取組みを紹介	
	12月13 ～15日	エコプロダクツ2012	東京ビッグサイト	【イベント出展】 首都高の環境への取組みを紹介	○

※時期、イベント内容等は都合により変更することがある。

5. 開通50周年記念事業の展開 開通50周年記念キャッチコピー「東京がいちばん見える道。」

首都高は、1962年(昭和37年)12月20日に1号線京橋～芝浦間約4.5kmが開通し、本年で開通50周年を迎える。平成24年度は開通50周年の実施期間として、各種イベント等を順次、展開する。

1. イベントの展開

50周年記念メインイベント(仮称)の開催を検討中。また例年実施しているイベントの実施に併せて、50周年をPRする。なお、平成24年2月に東京マラソン2012等を活用したPRを実施した。(別紙参照)

2. ツアー企画

「Shutoko members」(有料による首都高ツアー)のスキームを活用して50周年をPRする。

《参考例》

平成24年2月11日(土)

「Shutoko members」第1弾

「スカイバスで行く首都高スペシャルトンネルバスツアー
&首都高社員ここだけのトンネル話パーティー」



中央環状線大橋JCT内を走行



スカイバスの活用

5. 開通50周年記念事業の展開 開通50周年記念キャッチコピー「東京がいちばん見える道。」

3. 社会貢献活動

東日本大震災の被災地の子供達を夏休み(8月予定)に東京へ招待し、首都高施設等を案内するツアーイベントを開催する。

《参考例》

平成24年3月27日(火)にFIF(フューチャーイノベーションフォーラム)と協同して小学5・6年生を対象とした社会貢献活動、「首都高の最前線」首都高の「つくる、つかう、まもる」技術の職業体験プログラムを開催した。



「つくる」
中央環状品川線シールドトンネル



「つかう」
西東京管理局交通管制室



「まもる」
高所作業車から点検業務体験

4. PA等関連事業の活用

PAを活用した写真展(実施時期調整中)やお客様へのイベントを開催する。

5. 広報物等への展開

記念ロゴマーク(製作中)、キャッチコピー「東京がいちばん見える道」(株)宣伝会議にて公募により決定)を各種広報媒体等へ展開する。

5. 開通50周年記念事業の展開

別紙 「東京マラソン2012」等を活用したPR

①文字情報板

『東京マラソン2012』楽しんで走ってください。

5号池袋線西神田出口・都心環状線(内)芝公園



都心環状線(内)芝公園料金所

②横断幕

『首都高は今年50周年！東京マラソン2012に協力しています。』

他2パターン 6号向島線日本橋小網町付近他 6カ所(9枚)を掲出



都心環状線 日本橋兜町駐車場



都心環状線 芝園橋付近

③東京マラソンEXP02012ブース出展



2/23～2/25 東京ビッグサイトにて開催
(83,000人来場)

④東京マラソン2012の応援



2/26 芝公園付近にて社員有志
30名の応援

⑤ランナーからのお手紙

兵庫県三田市 男性からのお手紙
首都高広報室の皆様へ
私たち36,000人のランナーのために長時間の交通規制にも協力していただき本当にありがとうございました。皆様のおかげでとても楽しくマラソンを走ることが出来ました。写真を同封させていただきます。(芝公園の文字情報板のお写真同封)